

### 「首都大学東京ボランティアセンター」を開設

2016年1月1日、本学の使命である「大都市における人間社会の理想像の追求」の実践的な取組の一つとして、ボランティア活動を推進し、その活動を通じ、豊かな人間性と独創性を備えたリーダーシップを発揮する人材を育成することを目的に、「首都大学東京ボランティアセンター」を開設しました。

ボランティアセンターの取組は以下の3つの柱から成り立っており、学生の皆さんがボランティア活動を通して社会に参加し、社会のニーズと向き合うなかで、一人ひとりの可能性を広げられるようなサポートをおこないます。

#### (1) 外からのニーズに応える

##### ～情報提供と相談支援～

掲示板、チラシコーナー、ホームページ等を活用して外部からのボランティア募集や講座、助成金等の情報を提供します。

ニュースレター、メールマガジン、報告書を発行し、活動を広く発信します。

#### (2) 内からの活動を支える

##### ～学内団体のサポート～

学内団体の活動実態を把握するとともに保険加入の促進等、危機管理意識を育みます。

ステップアップ講座やPRの機会の提供、備品等の貸与により、活動の充実を図ります。

#### (3) 新たに活動を創る

##### ～ボランティアプログラムの開発・運営～

首都大学東京独自のボランティア活動として「スポーツボランティアプログラム」と「地域ボランティアプログラム」を推進します。

学習と連動した活動を推進することにより、社会のボランティアリーダーとなり得る人材を育成します。

### センター長からのメッセージ

#### ～ボランティアセンターの運営支援やボランティア活動に参加しよう～

公立大学法人首都大学東京  
副学長、ボランティアセンター長  
都市環境学部 教授  
西村 和夫



ボランティアセンターは、上に記載しているように、3つの柱を立てて皆さんのサポートを行っていきます。

ところで、ボランティアとは、一般的には“自発的な自己の意志に基づいて人や社会に貢献する活動”ですが、現在では、社会福祉はもとより、身近な生活改善、地域教育、町づくりから、環境保全や自然保護、スポーツ・文化・芸術の支援・継承・普及、さらに災害などの非常時の活動など多様な状況、分野においてその支援が求められています。

これらボランティア活動の特徴として“自発性”、“社会性”、“無償性”の3つがよく言われます。このことは本学

センターの「ボランティア活動ハンドブック」にも詳しく記載していますが、3つの中で“自発性”がキーとなる概念です。だれかに強制されたり無理に行う活動ではなく、“ほっとけない”、“なにか役に立ちたい”という自分の想いに基づいて自分にできることを実践していくことが大事です。しかし、この“できること”は、“自分が行いたいこと”ではありません。“求められていること、必要とされていること”です。いろいろなボランティア活動に多くの方が参加するようになって、ボランティア活動での活動する側と活動してもらう側のミスマッチも目立ち始めています。特に災害ボランティアでは“それなりの準備と覚悟”を持って現地に入らないとかあって被災者の方々にとって負担になることもあります。日常の支援でも同じです。このような心構えも含めて、センターでは専門のボランティアコーディネーターが、はじめてボランティア活動を始める学生にもボランティアが身近になるよう丁寧に相談に応じます。

また、首都大学東京のボランティアセンターは運営支援についても皆さんの協力を求めています。自分自身楽しみながら、ボランティアセンターの運営支援やボランティア活動に参加してみてください。

### スタッフ&学生コーディネーター紹介

#### ～私たちが皆さんの「やってみたい!」を応援します～

ボランティアセンターには、多くの情報が集まってきます。「どれが自分に合うのかわからない」という人には専門のコーディネーター（職員）が相談に応じています。

また、本センターは、教職員に加えて、学生も「学生コーディネーター」として運営に参画しています。学生目線からボランティア活動の啓発・促進を目的に、ボランティアを希望する学生の相談に乗ったり、啓発のためのイベントを企画したりしていきます。

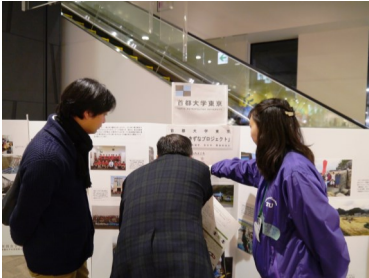
ぜひ気軽にお越しください。



## 【実施報告】「大学生ボランティア活動報告&防災イベント」を実施しました

あと1か月で東日本大震災から6年目となる2016年2月4日～11日に、イオンモール多摩平の森（JR豊田駅北口）にて、日野市ボランティアセンターや日野市地域協働課の協力を得て、多摩地区6大学（首都大学東京、中央大学、明星大学、法政大学、実践女子大学、東京薬科大学）合同で、被災地支援に取り組む学生ボランティア活動の活動報告やパネル展、地域防災のイベントを行いました。本学からは、岩手県大槌町等で活動を行っている課外活動団体「東日本きずなプロジェクト」が参加しました。

期間中は3,500人を超える来場者があり、東北出身の方もおられ、「今まで活動を続けている学生さんに感謝します。どうぞこれからも被災地を元気づけてください」などの声をいただきました。活動報告を行った学生にとっては、こうした場で来場者に伝えることが自らの活動を振り返る良い機会となっただけでなく、他大学の学生から刺激を受け合うなど、モチベーションの向上や今後の展開にもつながったようです。また、本学のボランティア活動を地域に周知する良い機会にもなりました。



パネル展では活動や現地の現状を紹介



子どもたちに救出や救護の技や知識を解説



参加した6大学の学生で集合写真

◆参加学生の声◆ 東日本大震災のことはもともと心にとめていたのですが、他大学の様々な活動を知り、身近な地域でも活躍している姿に刺激を受けました。特に、当事者意識というものが欠如していた私に他大学の方々は、これから動かなければならないのは私達だと強く感じさせてくれました。これからも続けたい関係です。

（東日本きずなプロジェクト代表・看護学科3年 近藤常葉）



### ボランティアセンターからのお知らせ

#### 首都大学東京ボランティアセンター主催ボランティアプログラム 参加者募集

首都大独自のボランティア活動として、年間を通じたボランティアプログラムを実施します。2016年度は、以下の2つの活動を行い、参加者を募集します。

【スポーツボランティア】スポーツボランティアリーダー養成プログラム

【地域ボランティア】「首都大・松木日向緑地」をフィールドとした  
里山保全・多世代交流活動

活動期間：2016年6月～2017年3月まで

（おおむね毎月1回のペースで、活動日は土日を中心にプログラムごとに異なります。）

応募締切：5月31日（火）17時45分まで

※上記は現段階の予定であり、詳細は4月下旬頃、ボランティアセンターのホームページに掲載する予定です。

<説明会開催予定>いずれか都合の良い日程にご参加ください。

①5月10日（火） ②5月18日（水） ③5月23日（月）

時間：12時10分から30分程度 場所：1号館1階 105教室

上記の日程への参加が難しい場合は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

#### 首都大学東京ボランティアセンター 学生コーディネーター前期募集

センターでは、首都大のボランティア活動をともに盛り上げていただく学生コーディネーターを募集します。

応募締切：5月13日（金）17時45分まで

※詳細は、ボランティアセンターのホームページをご覧ください。

### ボランティア募集情報

#### 「第17回東京都障害者スポーツ大会」の 運営サポートボランティア募集

（主催：東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会）

日時：5月28日（土）・29日（日）・6月4日（土）

8:30～17:00 ※1日だけの参加もOK

会場：駒沢オリンピック公園総合運動場 他

内容：競技補助、選手サポート、誘導など

申込締切：4月21日（木）

問合せ・申込みは、ボランティアセンターまで

#### ボランティア保険に必ず加入しましょう ～更新は4月始まりの年度ごと～

ボランティア活動中には、ボランティア自身がケガをしたり相手にケガをさせてしまったり、物を壊してしまうこともあります。ボランティアだから責任を免除されることはありません。そんな万一の場合に備えて、必ず事前に「ボランティア保険」に加入してから活動するようにしてください。ボランティアセンターや近隣の社会福祉協議会で加入受付を行っています。

（保険料：年間300円～）

#### <編集後記>

1月に開設したボランティアセンターですが、3月からは専用の部屋ができ、4月になり学生の皆さんの来室も増えてきました。そして、今回が創刊号となる「ボランティアセンター通信」。ボランティアセンターのことをもっともっと知っていただきたく、3ヶ月に1回のペースで発行していきます。よろしくお付き合いください！

#### <編集・発行>

首都大学東京ボランティアセンター

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 1号館1階

電話&FAX：042-677-1354（直通）／内線2260

E-mail：tmu-volunteer@jmi.tmu.ac.jp

URL：http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/12\_volunteer/

発行日：平成28年4月